Quali による Stack Automation リリース ノート

©2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco Confidential

はじめに

Stack Automation by Quali は、シスコと Quali が共同開発したデプロイメント自動化プラットフォームであり、シスコが独自に提供しています。手動のコンポーネントベースの設定から完全に自動化されたクラウドのようなデプロイメント モデルに移行することで、Day 0-1 のインフラストラクチャとエコシステム ソフトウェア エクスペリエンスを簡素化するように設計されています。このアプローチにより、価値実現までの時間を短縮でき、ユーザーは数週間ではなく数時間で結果を得ることができます。

このプラットフォームは、次の 2 つの主要なデプロイメント範囲をサポートしています：

- ソフトウェアのみ：Nexus Dashboard、Intersight、Splunk などのシスコ製品や、NVIDIA NIM、OpenShift、Qumulo などのサードパーティおよび ISV アプリケーションを含む、個々のソフトウェア レイヤのプロビジョニングと設定を自動化します。
- フルスタック ソリューション：事前に検証されたターンキーのソリューション（AI POD や Splunk POD など）を提供。これにより、スタック全体（ネットワーキング、コンピューティング、ストレージ、ソフトウェアレイヤ）を単一の統合ワークフローでオーケストレーション。

Stack Automation はシスコ製品とネイティブに統合し、Cisco Validated Design とベスト プラクティスを活用して、オンプレミスでクラウドのようなエクスペリエンスを実現します。このプラットフォームは、検証済みのシスコおよびサードパーティのソリューションを UCS およびハイブリッド クラウド インフラストラクチャに無料で展開できます。オプションで、Infrastructure as Code（IaC）およびエージェント AI ツールを使用した高度なカスタマイズのためのサブスクリプションが用意されています。

主な利点としては、デプロイメント時間の短縮、組み込み検証による運用の信頼性、カスタマイズ可能なブループリントによる企業の柔軟性、ハイブリッドおよび AI イニシアチブの拡張性などが挙げられます。初期デプロイメント フェーズでは高速アクセラレータとして機能し、Intersight やNexus Dashboard などの既存の Cisco プラットフォームに継続的な管理を渡します。

Quali による Stack Automation の導入により、組織は生産を自動化し、クラウド速度でワークロードを準備し、手動エラーを減らし、IT チームは繰り返しの構成タスクではなくイノベーションに集中することができます。

顕著なソフトウェア機能

製品への影響	機能	説明
セルフサービスと使いやすさ	キュレートされたソリューション ハブ カタログ	エンド ユーザーは、展開準備が完了しているソリューションのセルフサービス カタログを使用して、事前承認されたブループリントとアプリケーションを参照および起動できます。クラウド コンソールへのアクセスは必要ありません。
	Blueprint の作成	スタック自動化により、Infrastructure as Code（IaC）アセットを管理する方法に柔軟性がもたらされます。検出されたアセットを自動的にラップするか、リポジトリで YAML ファイルを手動で作成するか、デザイナ キャンバスに視覚的にドラッグ アンド ドロップすることができます。要件に最適なワークフローを選択できます。
エージェントおよび AI ネイティブ	AI エージェントの統合（MCP サーバー）	Clade、Copilot、Codex、Cursor、またはモデル コンテキスト プロトコル（MCP）互換クライアントを環境に接続します。これらのクライアントを使用して、スペースを一覧表示したり、ブループリントを起動したり、自然言語を使用して展開をトラブルシュートできます。

©2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco Confidential

製品への影響	機能	説明
	エージェント ブループリントの作成	AI エージェントは、ブループリント YAML ファイルを直接生成および編集し、自然言語のリクエストを展開可能なブループリントに変換できます。
速度と価値実現までの時間	粒度の高いオーケストレーション	コンポーネント間の自動ご利用条件順序付けと出力チェーンを使用して、Terraform、Helm、CloudFormation、および Ansible グレーンを 1 つのブループリントに結合します。
	再利用可能な構成要素	事前に審査済みのアセットをデザイナー キャンバスにドラッグして、構成要素として使用します。このアプローチにより、新しいスタックに最初から再構築するのではなく、既存のインフラストラクチャを再利用することができます。
ガバナンスとセキュリティ	ロールと権限	アカウント管理者、スペース管理者、スペース デベロッパー、スペース メンバーの 4 つの組み込みロールは、Okta および Azure AD とのシングル サインオン同期（SSO）グループ同期によってサポートされる、最小権限のアクセスを適用します。
	消費ポリシーと承認	ガードレールは、アクセス制御、期間制限、承認要件など、ブループリントの起動用のポリシーを自動的に適用します。システムはこれらのポリシーを適用し、規則に依存するのではなく規則遵守を保証します。
一貫性と信頼性	GitOps / Environment-as-code	各デプロイメントは、送信元制御内の宣言型 YAML ファイルによってサポートされます。これにより、バージョン履歴、監査可能な作成者、およびワンクリックのロールバック機能が提供されます。
	変動の検出と更新	展開サービスは、 *稼働中の* 環境を宣言された状態に対して継続的に調整し、設定のばらつきにフラグを付けたり修正したりします。

新しいハードウェア機能

次に、このリリースでサポートされる新しいハードウェアのリストを示します。

制限事項の詳細については、Stack Automation ヘルプページの「プラットフォームの制限と仕様」 セクションを参照してください。

解決済みの問題

このリリースでは、解決済みの問題はありません。

未解決の問題

このリリースに未解決の問題はありません。

©2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco Confidential

既知の問題

このリリースでは既知の問題はありません。

互換性情報

ブラウザの互換性

Stack Automation UI は、 Chrome、 Firefox、 Edge、Safari など、最も一般的なブラウザの最新のデスクトップ バージョンと互換性を持つように設計されています。ほとんどの場合、互換性は最新リリースの 1 つ前のバージョンまでとなります。

モバイル デバイスとの互換性を保つように設計されていませんが、ほとんどのモバイル ブラウザでは Stack Automation UI の大部分をレンダリングできます。しかし、デスクトップまたは、ラップトップで上記のブラウザを使用することが推奨されます。モバイル ブラウザは、Stack Automation では正式にサポートされていません。

検証済みスケーラビリティの制限値

セグメント	トピック	値
管理サーバー	最大同時ブループリント展開（2 vCPU/16 GB RAM）	20 ブループリント
管理サーバー ストレージ	ISO キャッシングに割り当てられたスペース	200 GB
アカウント	アカウントあたりの最大のスペース	200
計画	ブループリントあたりの最大粒数	200
リポジトリ（Repository）	接続されているリポジトリの最大数	300 のリポジトリ
リポジトリ アセット	リポジトリごとの最大アセットインポート数	10,000
空白（スペース）	スペースあたりの最大ブループリント	500
Copilot リクエスト	1 分あたりの最大要求数（RPM）	10,000
Copilot トークン	1 分あたりのトークン数（TPM）	4,000,000
ブループリントの実行	サーバーの同時サポート：OS およびプラットフォームのブループリント	複数選択がサポートされている 4 台のサーバー

関連コンテンツ

Stack Automation のユーザー コンテンツに直接アクセスするには、次の URL を参照してください：
www.stackautomation.cisco.com/help

または、 Stack Automation URL からドキュメントにアクセスすることもできます。ログインしたら、「?」をクリックしますアイコンがヘッダーに表示されます。表示された **[サポート（Support）]** 画面で、**[ドキュメントを確認（Explore Documentation）]**をクリックします。

©2026 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco Confidential

マニュアルに関するフィードバック

このマニュアルに関する技術的なフィードバック、または誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、stack-automation-docfeedback@cisco.com までご連絡ください。

法的情報

シスコおよびシスコのロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。シスコの商標の一覧については、https://www.cisco.com/c/ja_jp/about/legal/trademarks.html をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナー関係が存在することを意味するものではありません。（1110R）。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2026 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

米国本社
Cisco Systems, Inc.
カリフォルニア州サンノゼ

アジア太平洋本社
Cisco Systems (USA), Pte. Ltd.
シンガポール

ヨーロッパ本社
Cisco Systems International BV
Amsterdam, The Netherlands

2023 年 11 月発行

© 2023 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/jp/go/trademarks をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。1175152207 10/23

Printed in USA

Cxx-xxxxxx-xx 01/20

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。